

浜通りの再生に向けた
浪江町のあり方
～双葉郡北部の復興拠点～

平成26年10月

浪江町

1. 浪江町復興まちづくり計画の考え方

平成26年3月に「復興まちづくり計画」を策定。
双葉郡北部の復興拠点を担うことを宣言。

復興まちづくり計画抜粋

復興まちづくりの4つの目標

みんなで必ず取り戻す 安全・安心の暮らしやすいまち

ふるさとを取り戻す第一歩として、まずは町内の復興拠点※で安心して暮らせる環境をつくります。

みんながつながるまち

町内外で暮らす全ての町民が、つながり続けることができるまちを目指します。

双葉郡北部の復興拠点を担うまち

双葉郡の北側の玄関口として、双葉郡の復興拠点※となるまちを目指します。

未来に向けて希望のあるまち

浪江らしさを大切にしながら、発展性のある魅力的なまちを目指します。

※復興拠点とは、復興の足場を築く場所

復興まちづくり計画

避難指示解除に向けたまちづくり方針（平成29年3月までに準備するもの）

項目	年度					実施主体	取組内容（詳細）
	H25	H26	H27	H28	～H32		
住宅の確保	自宅の補修支援		検討・支援策確保		支援継続	町	自宅での生活を再開する方への自宅補修等に係る支援を検討
	解体除染制度創設の要請		要請・解体除染				所有者の意向により解体除染の手法が選択できるよう、国に要請
	民間賃貸住宅による住宅の確保		事業者への要請・確保		順次確保	町 民間事業者	民間賃貸住宅による住宅の確保を事業者に要請
	自力での住宅確保支援		要請・支援				既存中心市街地の空き地の活用、民間事業者との連携による新たな住宅地確保、防災集団移転促進事業、住宅再建支援制度創設等を推進
	復興公営住宅の整備		計画・設計・建設		順次建設	町	町内で住宅を確保できない町民のために、避難指示解除に合わせて復興公営住宅を整備
生活環境の確保	教育施設		検討		順次確保	町	子どもの帰還に合わせた再開を目指す（浪江小・幾世橋小・浪江東中の校舎利用を検討）
	町営診療所や民間医療施設の設置	仮設診療所 開設済	計画・要請		順次確保	町	避難指示解除に合わせて町営診療所の開設や民間医療施設の再開・設置を推進
	介護・福祉等の一体型センター拠点整備		計画・設計・建設				既存施設の再開や介護・福祉等の一体型センター拠点を整備
	移動販売・簡易店舗の確保		要請				帰還開始前の買ひ物は、移動販売車や簡易店舗により対応
	仮設商店街の整備・既存店舗再開支援		検討・支援・整備		順次確保	町 民間事業者	帰還開始時には仮設商店街や既存店舗の再開を支援し機能を確保
	放射線対策の充実		検討・準備		継続実施	町 広域圏組合・民間事業者	放射線による健康被害の未然防止、のための検査体制や相談機会の充実
防犯・防火活動の実施		要請・実施				警察署・消防署と協力した見回りや火栓や防火水槽の整備により避難中の消火活動の確保	
つなごりの場の確保	交流施設の確保	自布祿	利用拡大・他の施設確保検討			町	一時帰宅の休憩所について、利用の拡大や踏まえ
	一時滞在施設の確保		要請・整備		順次確保	町 民間事業者	帰還準備のための滞在が可能となる施設を整備を行う
	文化財の保存	仮保存	保存推進				文化財保護団体との連携により残存文化財の保存を推進
雇用の場の確保	生涯学習の機会創出		検討		機会創出		帰還後に町内に住む方のあらゆる活動の場が確保できるよう機会の創出を図る
	事業所の再開支援		再開支援		支援継続	町 民間事業者	帰還して事業を再開する事業者の支援制度について国・県へ要望
	農林水産業の再開		再開準備推進		取組み継続		事業再開に向け、従事者を中心に再開準備を推進
	請戸漁港の復旧		復旧工事			県	漁港はH27年度に復旧される見込み。再開に当たり新しい水産業の在り方を検討
復興拠点整備	双葉郡北部の復興拠点整備		要請・整備		順次整備	町	双葉郡北部の復旧・復興に向けた拠点としての機能整備を図る
	廃炉研究拠点・作業員拠点誘致		要請・整備		順次整備	町 民間事業者	原発廃炉に向けた研究・作業拠点の滞在施設等を有する拠点として整備を図る
	作業員宿泊施設確保		要請・確保		順次確保		復興を加速させるために、作業員の滞在施設の整備について、事業者によるホテル等再開を支援
津波被災地の復興	共同基地の整備		整備工事			町	H26年度中の完成をめざし、大平山の一部に共同基地・慰霊碑の整備を図る
	防災集団移転・災害公営住宅整備		計画・設計・用地買収・整備				津波被災地から高台等への移転を進めるとともに、移転先で宅地造成や復興公営住宅の整備を図る
	津波被災地域の土地利用		西側：【太陽光発電事業】要請・準備 東側：災害廃棄物仮置き場・海岸防災林		順次整備 災害記念公園等	町 民間事業者	浜街道西側の農地で太陽光発電事業を検討。浜街道東側は防災林、災害記念公園や健康増進エリアとして整備を図る

- ・双葉郡北部の復興拠点として、
- ・復旧・復興の拠点としての機能整備
- ・廃炉に向けた研究・作業拠点を整備
- ・ホテル等の事業再開を支援し作業員の滞在施設を整備
- などを位置づけ。

イノベーション・コースト構想
主要プロジェクトに絡めた双葉郡北部の復興拠点としてのあり方を示す。

2. 双葉郡北部の復興拠点としての利点

① 近くて比較的広い土地がある <近い、広い>

- ・町の復興拠点である役場周辺(中心市街地含む)は福島第一原発から概ね7km圏内。浜街道の通る津波被災地は同5km圏内。
- ・比較的広い低線量地域であり、利用可能な土地が広大。(約20平方km。東京都港区と同程度)

② 物流、人流を多角化するインフラがある <ルート多角化>

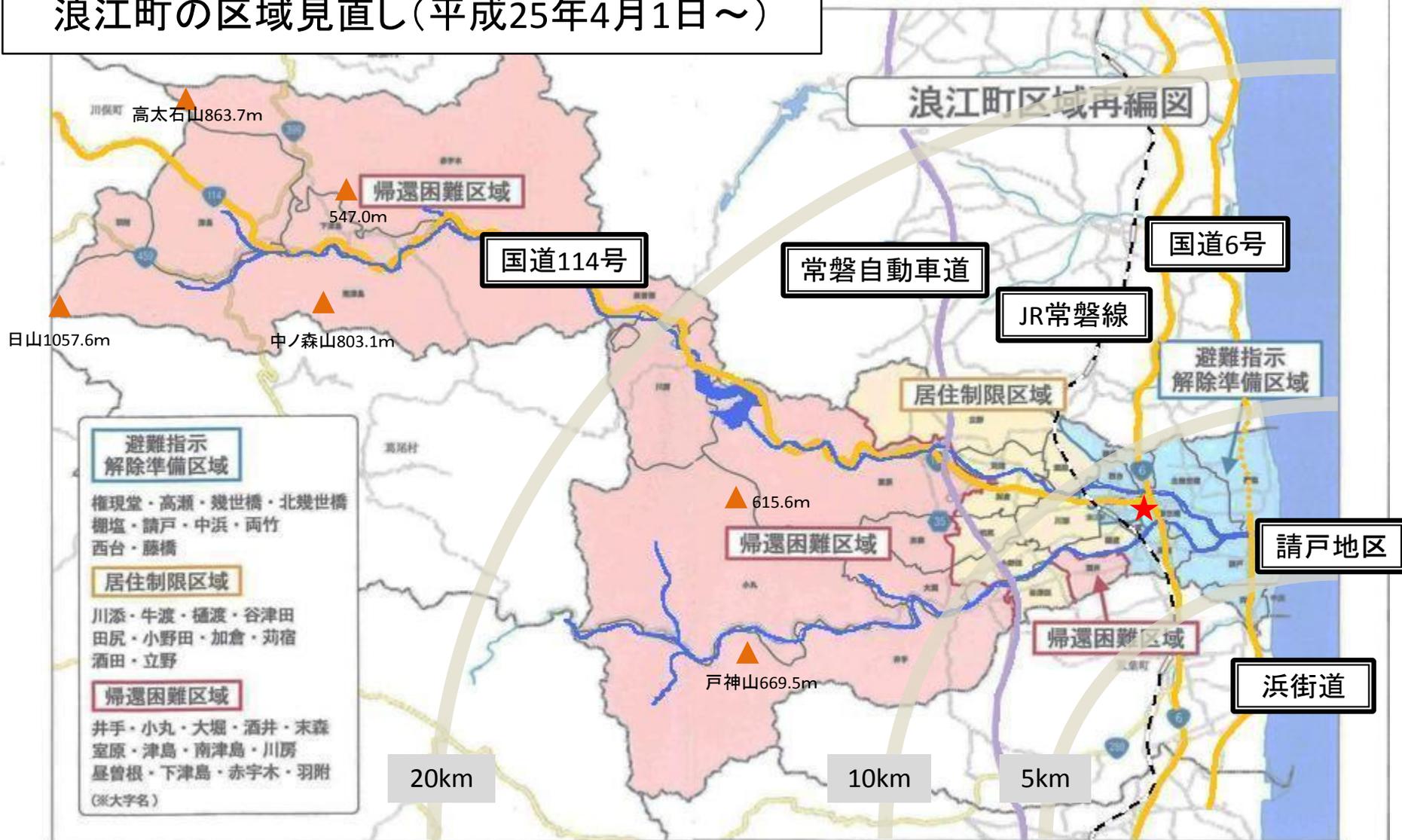
- ・浜街道は物流ルートとしての活用が期待できる。
- ・国道6号、114号、JR常磐線、常磐自動車道と北部・西部からのルートの確保により、南部の渋滞緩和にもつながる。
- ・請戸漁港は緊急時の物資搬入港に指定されており、また、将来的に沿岸南部への物流港の整備も模索できる。

③ 豊富な自然資源と産業基盤がある <基盤産業>

- ・低線量地域は優良農地が広がっており、農業の再生が期待される。また、請戸川が源流から河口まで町内を通っており、漁港の活用とともに農地、河川、海洋及び農産物、海産物の一貫した検査・研究への貢献が期待できる。
- ・線量の状況も様々であり放射線医学・医療なども含め多様な研究が可能。

2. 双葉郡北部の復興拠点としての利点

浪江町の区域見直し(平成25年4月1日～)



3. 主要プロジェクトから浪江町が目指すもの

イノベーション・コースト構想の主要プロジェクト

1. 廃炉へのチャレンジ

- (1) 国際的な廃炉研究開発拠点の整備
- (2) ロボットについての研究実証拠点の整備
 - ① モックアップ施設
 - ② ロボットテストフィールド
 - ③ 国際競技会

2. 新しい産業基盤の構築

- (1) 国際産学連携拠点の整備
 - ① 国際的な産学官共同研究室
 - ② 大学教育拠点
 - ③ 技術者研修拠点
 - ④ 情報発信拠点

利点を踏まえた優位性

近くて低線量地域である浪江町に優位性有り。

3. 主要プロジェクトから浪江町が目指すもの

イノベーション・コースト構想の主要プロジェクト

(2) スマート・エコパークの整備、エネルギー関連産業の集積

- ① 1) 廃棄物のリサイクル、資材の供給
- 2) リチウム電池などの再生
- 3) バイオマスエネルギープラント

- ② 1) LNG受入基地関連産業
- 2) 高効率石炭火力発電関連産業
- 3) 新エネルギー関連産業

(3) 農林水産分野における新産業創出

- 1) 新しい農業の研究・実証
- 2) 水産研究拠点の構築
- 3) 間伐材等を活用した新たな木材需要

利点を踏まえた優位性

近くてルート多角化ができる浪江町に優位性有り。

調査事業実施中

近くて低線量地域である浪江町に優位性有り。

基盤がある浪江町に優位性有り。

バイオマスと連動

3. 主要プロジェクトから浪江町が目指すもの

具体的には、以下の産業、施設を誘致し町の復興拠点と融合させ、**双葉郡北部の復興拠点**を形成する。

① 浪江町だからできる新たな一次産業のかたち

- ・農作物、魚介類等の放射性物質の**検査・研究施設**
- ・海洋、河川の放射性物質移行に関する**調査・研究施設**

一次産業の再生、復興

内部被ばく等の放射線医学の研究などへも拡大

- ・新たな作物、新たな形態のICT**農業拠点**

※ 作物ごとの効率的、効果的な生育環境、生育方法を共有するなど、研究データを一元的に管理し全体に裨益させる拠点

「町の復興拠点」と「双葉郡北部の復興拠点」の関係性①

浪江町全体の復興拠点

復興拠点を足がかりに段階的に整備地域を拡大

- ・役場を中心に帰還開始時の町民生活を支える生活利便施設・交流機能・ボランティア拠点等の機能を集約して確保
- ・町営診療所等による医療施設を確保
- ・介護・福祉等の一泊型センター拠点を整備
- ・仮設商店街を整備
- ・空地・空家を活用した「自力での住宅再建用地」「復興公営住宅」の確保

接性等に配慮した新たな住宅地整備による「自力での住宅再建用地」「復興公営住宅」の確保を検討

原子力発電以外の電源立地やその他の大型プロジェクトに活用を要請
・廃炉関係企業等の誘致を検討

既存中心市街地の再生

避難指示解除準備区域

農業拠点

農地、河川、漁港と研究施設の連携

研究施設

請戸漁港

居住エリアの拡大

居住制限区域

帰還困難区域

既存施設を一時滞在施設・交流施設として活用することを検討

帰還開始時には避難指示解除準備区域において、「自宅での生活」「自宅以外で自力での住宅再建による生活」も始まります。

- 凡例
- 行政界
 - 国道
 - 県道
 - 鉄道
 - 避難指示区域 (3区分)
 - 道路改良 (予定)
 - 津波浸水区域
 - 災害危険区域
 - 防災林
 - 災害記念公園
 - スポーツ、健康増進エリア
 - 太陽光発電施設用地
 - 防災集団移転候補地
 - 墓地移転候補地

- 凡例
- 復興拠点の中心
 - 新たな住宅地整備候補地
 - 一時滞在施設候補地
 - 交流施設候補地
 - 雇用創出エリア
 - 主要道路ネットワーク



3. 主要プロジェクトから浪江町が目指すもの

②被災地で学ぶ、伝える

- ・海外も含めた技術者の育成も視野に入れた**研修施設**
- ・記録や資料の収集、保存、調査、研究等を行う**資料館**

③復興を支える、推進する

- ・セメント、金属などの**資材リサイクルセンター**

学術都市を
形成

人材の育成

資材供給拠点を
形成

雇用を創出

- ・新たな人口流入も視野に入れた**住宅群の整備**

※ 既存施設や空き家屋なども利用した人口集積地を形成。
中高層住宅も取り入れ、「住むなら浪江」を創出する。

「町の復興拠点」と「双葉郡北部の復興拠点」の関係性②、③

浪江町全体の復興拠点

復興拠点を足がかりに段階的に整備地域を拡大

- ・役場を中心に帰還開始時の町民生活を支える生活利便施設・交流機能・ボランティア拠点等の機能を集約して確保
- ・町営診療所等による医療施設を確保
- ・介護・福祉等の一体型センター拠点を整備
- ・仮設商店街を整備
- ・空地・空家を活用した「自力での住宅再建用地」「復興公営住宅」の確保

接性等に配慮した新たな住宅地整備による「自力での住宅再建用地」「復興公営住宅」の確保を検討

- ・原子力発電以外の電源立地やその他の大型プロジェクトに活用を要請
- ・廃炉関係企業等の誘致を検討

学術都市の形成
町民と流入人口の融合

住宅群

工業団地造成

研修施設
資料館

資材リサイクルセンター

新物流港

資材供給拠点を形成

大規模駐車場

スクリーニング場、作業員事務所

工業団地造成

- 凡例
- 行政界
 - 国道
 - 県道
 - 鉄道
 - 避難指示区域 (3区分)
 - 道路改良 (予定)
 - 津波浸水区域
 - 災害危険区域
 - 防災林
 - 災害記念公園
 - スポーツ、健康増進エリア
 - 太陽光発電施設用地
 - 防災集団移転先候補地
 - 墓地移転候補地

- 凡例
- 復興拠点の中心
 - 新たな住宅地整備候補地
 - 一時滞在施設候補地
 - 交流施設候補地
 - 雇用創出エリア
 - 主要道路ネットワーク



3. 主要プロジェクトから浪江町が目指すもの

④新エネルギー産業の創出

- ・太陽光、風力、地熱発電などの再生可能エネルギーを町外から集約し、供給するための**蓄電エネルギー拠点施設**



- ・請戸、棚塩地区における**農業一体型太陽光発電**との連系
- ・浪江小高原発電予定地などでの**工業団地造成**

※ 発電、蓄電、利用を一体化した新たなエネルギー利用体系を構築する。

「町の復興拠点」と「双葉郡北部の復興拠点」の関係性④

浪江町全体の復興拠点

復興拠点を足がかりに段階的に整備地域を拡大

居住制限区域

居住エリアの拡大

既存中心市街地の再生

帰還困難区域

- ・役場を中心に帰還開始時の町民生活を支える生活利便施設・交流機能・ボランティア拠点等の機能を集約して確保
- ・町営診療所等による医療施設を確保
- ・介護・福祉等の一体型センター拠点を整備
- ・仮設商店街を整備
- ・空地・空き家を活用した「自力での住宅再建用地」「復興公営住宅」の確保

- ・接性等に配慮した新たな住宅地整備による「自力での住宅再建用地」「復興公営住宅」の確保を検討

新たなエネルギー利用体系の構築

工業団地造成

蓄電エネルギー拠点施設

資材リサイクルセンター

大規模駐車場

スクリーニング場、作業員事務所

工業団地造成

- 凡例
- 行政界
 - 国道
 - 県道
 - 鉄道
 - 避難指示区域 (3区分)
 - 道路改良 (予定)
 - 津波浸水区域
 - 災害危険区域
 - 防災林
 - 災害記念公園
 - スポーツ、健康増進エリア
 - 太陽光発電施設用地
 - 防災集団移転先候補地
 - 墓地移転候補地

- 凡例
- 復興拠点の中心
 - 新たな住宅地整備候補地
 - 一時滞在施設候補地
 - 交流施設候補地
 - 雇用創出エリア
 - 主要道路ネットワーク

既存施設を一時滞在施設・交流施設として活用することを検討

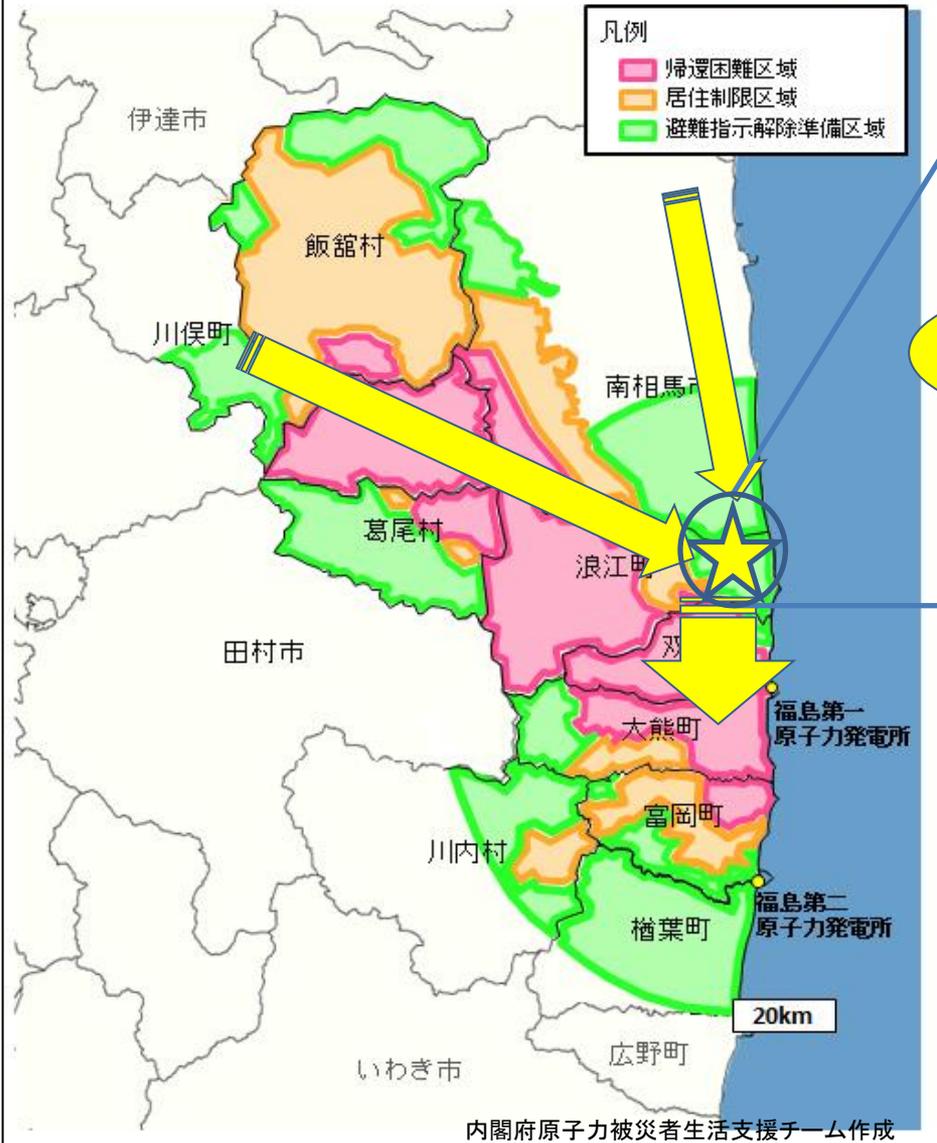
帰還開始時には避難指示解除準備区域において、「自宅での生活」「自宅以外で自力での住宅再建による生活」も始まります。

100 500 1000m

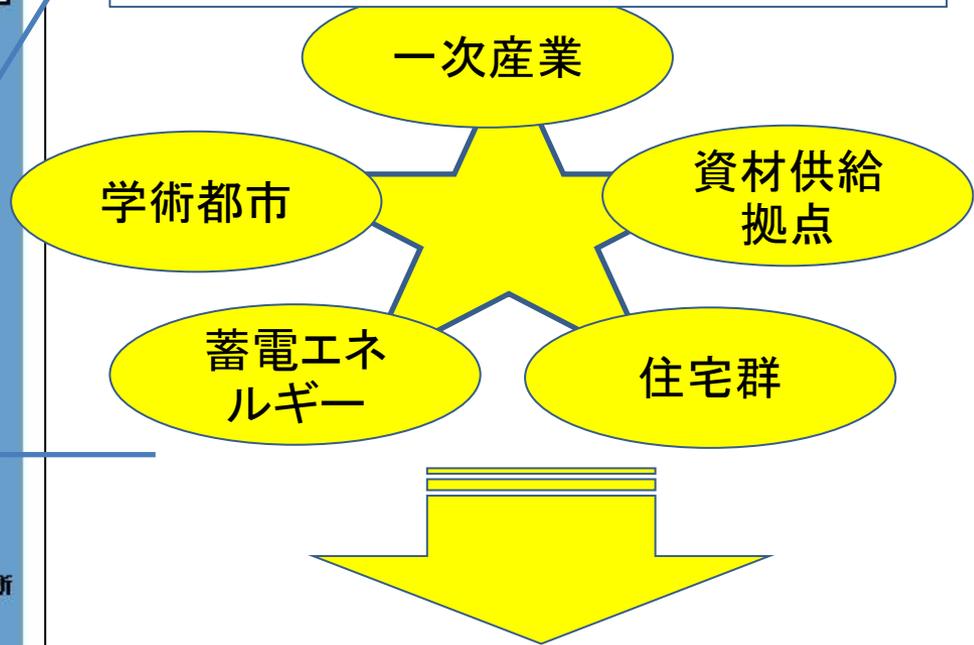
3. 主要プロジェクトから浪江町が目指すもの

避難指示区域の概念図

平成26年4月1日時点



双葉郡北部の復興拠点



双葉郡の復興を北部から強く下支え

